

〔IV〕財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1)有価証券の評価基準及び評価方法について
市場価格のあるものは時価法を採用している。
満期保有目的の債券・・・償却原価法(定額法)によっている。
- (2)固定資産の減価償却の方法
ソフトウェア・・・無形固定資産として5年償却を採用
- (3)消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	3,914,116,320	0	592,110,000	3,322,006,320
定期預金	0	29,000,000		29,000,000
普通預金	89,377,689	0	28,016,080	61,361,609
小計	4,003,854,009	29,000,000	620,126,080	3,412,367,929
特定資産				
助成事業引当資産	69,000,000	24,000,000	69,000,000	24,000,000
小計	69,000,000	24,000,000	69,000,000	24,000,000
合計	4,067,854,009	53,000,000	689,126,080	3,436,367,929

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対する額)
基本財産				
投資有価証券	3,322,006,320	(3,322,006,320)	(0)	-
定期預金	29,000,000	(29,000,000)	(0)	-
普通預金	61,361,609	(61,361,609)	(0)	-
小計	3,412,367,929	(3,412,367,929)	(0)	-
特定資産				
助成事業引当資産	24,000,000	(24,000,000)	(0)	-
小計	24,000,000	(24,000,000)	(0)	-
合計	3,436,367,929	(3,436,367,929)	(0)	-

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	504,000	441,000	63,000
合 計	504,000	441,000	63,000

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳簿価格	時価	評価損益
CBAタンタンハタケ06/12	30,000,000	29,964,000	△ 36,000
インバスコ毎月決算ユーロ債券F	39,655,350	25,133,850	△ 14,521,500
MHAM豪ドル債券ファンド毎月決算	53,990,400	38,808,000	△ 15,182,400
スウェーデン輸出信用銀行 ソフトバンク債券	12,570,570	12,541,008	△ 29,562
20,000,000	20,184,000	184,000	
第1回野村ホールディングス株式会社 期限前償還条件付社債	10,000,000	10,147,500	147,500
みずほ銀行劣後社債11回コーラブル	10,000,000	10,050,000	50,000
第16回三菱東京UFJ銀行 期限前償還条項付社債	10,000,000	10,458,600	458,600
第22回三菱東京UFJ銀行 期限前償還条項付社債	10,000,000	10,153,900	153,900
合計	196,216,320	167,440,858	△ 28,775,462